

試験方法の変更点



これまでの改訂履歴

	FIFA(国際サッカー連盟)	JFA(日本サッカー協会)
2001. 9	人工芝ピッチ公認制度開始	人工芝ピッチ公認制度開始 JFA ロングバイル人工芝ピッチ公認 検査実施マニュアル 第5版 2012年11月22日  <small>公益財団法人 日本サッカー協会 施設委員会</small> 検査実施マニュアル改訂 検査実施マニュアル改訂 検査実施マニュアル改訂 検査実施マニュアル改訂
2003. 10		
2004. 7	国際サッカー評議会が、競技規則に人工芝導入を決定。	
2005. 2	FQC改訂(試験方法変更)	
2006. 3	FQC改訂	
2007. 3		
2008. 1	FQC改訂	
2008. 4		
2009. 5	FQC改訂	
2010. 3		
2012. 1	FQC改訂(試験方法変更)	
2012. 11		検査実施マニュアル改訂



JFAピッチ公認の検査プロセス

1.ラボテスト(製品検査) →改訂

2.フィールドテスト(下地検査)

3.フィールドテスト(人工芝敷設後検査) →改訂

①ボールの垂直反発高さ



旧：視覚法のみ

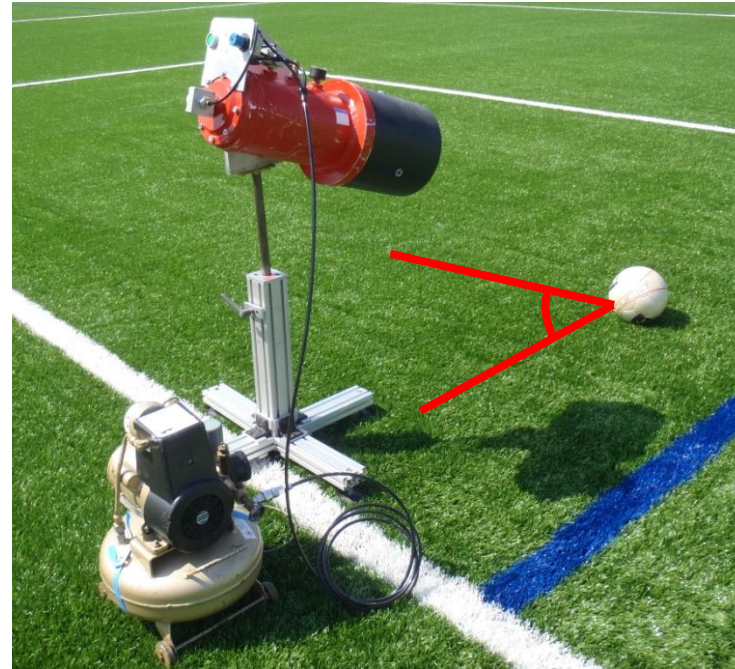


新：音響法を追加

②ボールバウンド時の速度



旧: 20°



新: 15°

- ボールの打出し角度を 20° から 15° へ変更 (FIFAと同条件)

③ 衝撃吸収性



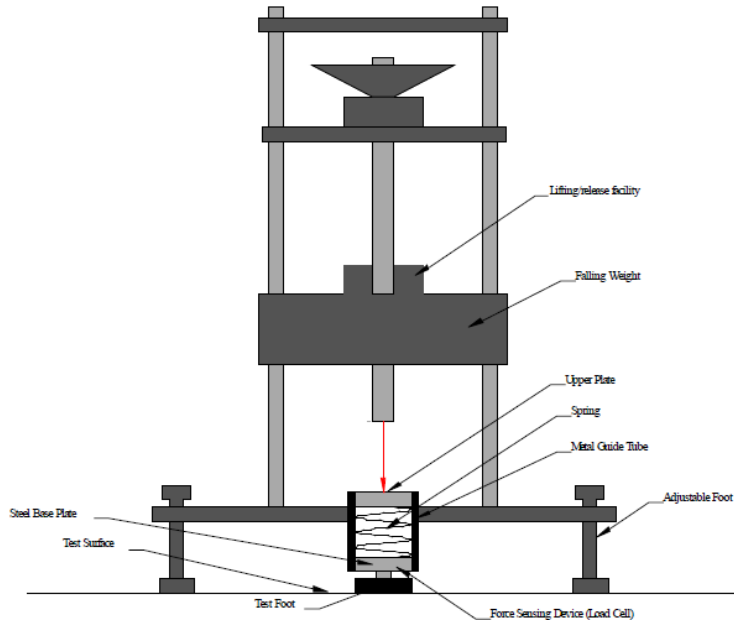
旧 : Artificial Athlete法
(Berlin法)



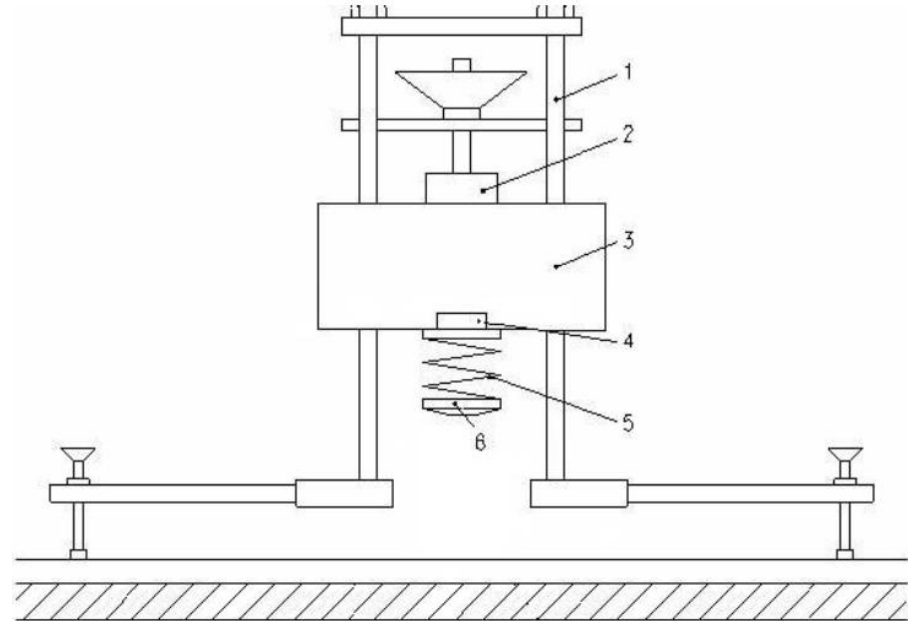
新 : AAA法

- 試験方法をAAA法へ変更(FIFAと同条件)

③ 衝撃吸収性



旧 : Artificial Athlete法
(Berlin法)



新 : AAA法

- 試験方法をAAA法へ変更 (FIFAと同条件)

③垂直方向変形



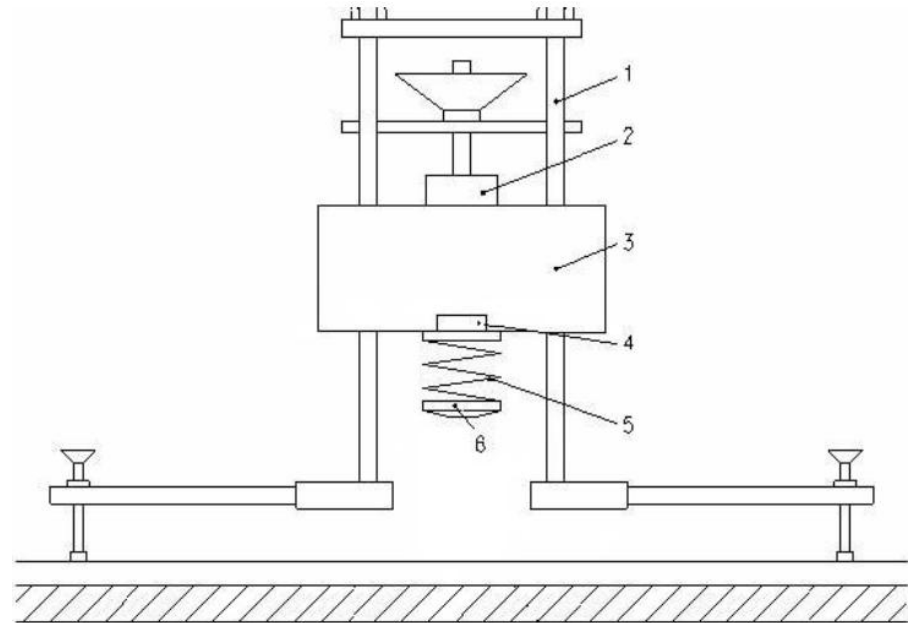
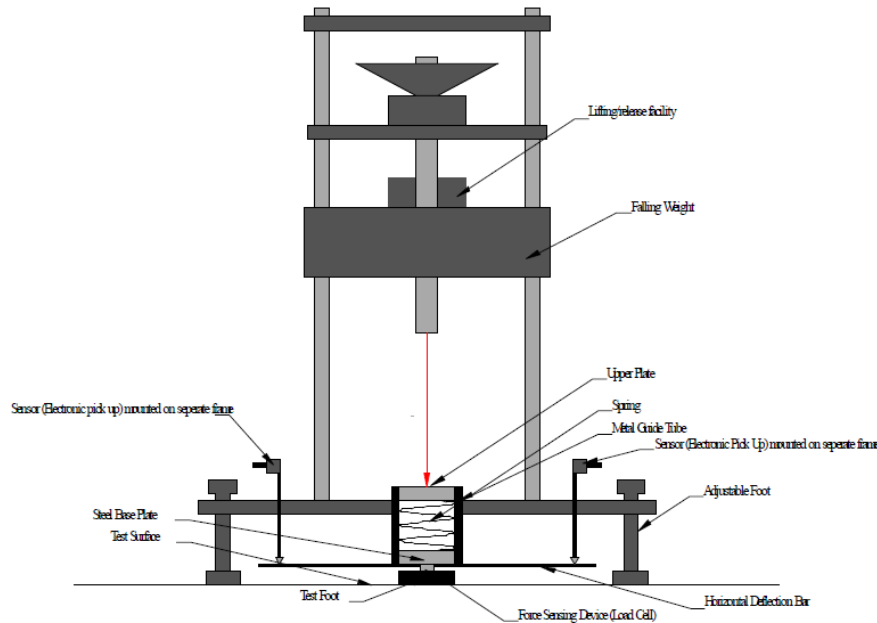
旧 : Artificial Athlete法
(Stuttgart法)



新 : AAA法

- 試験方法をAAA法へ変更(FIFAと同条件)

③垂直方向変形



旧 : Artificial Athlete法
(Stuttgart法)

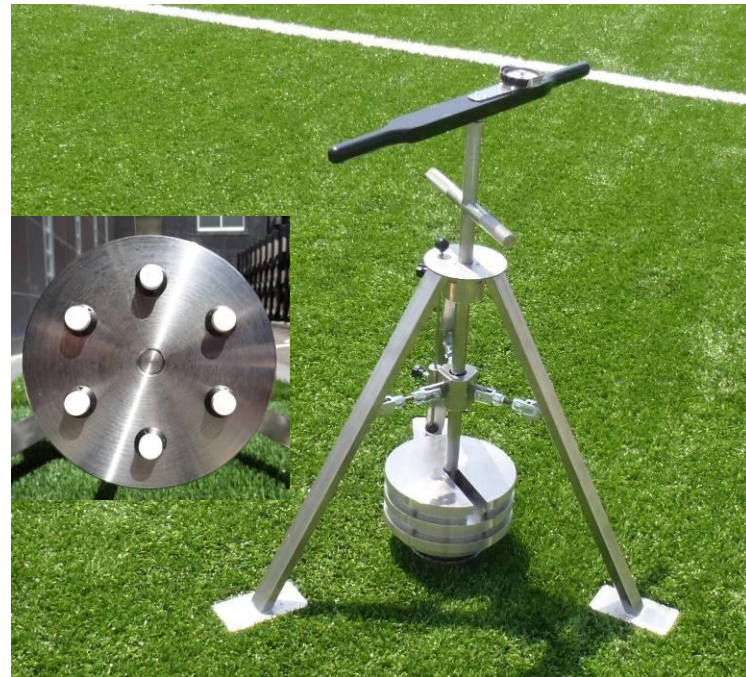
新 : AAA法

- 試験方法をAAA法へ変更(FIFAと同条件)

④回転抵抗(トラクション)



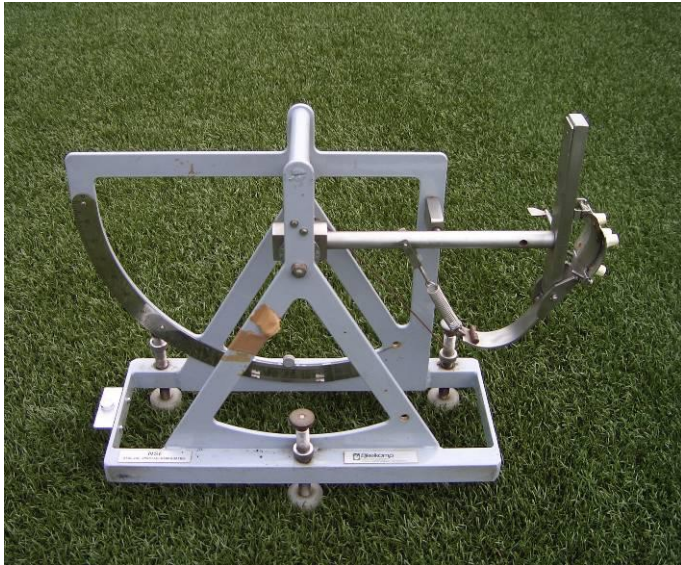
旧



新

- スタッドの変更、三脚とガイドの使用
(FIFAと同条件)

⑤線形摩擦(旧 靴底の滑り性)



旧:改良型Leroux試験機
試験機

新:改良型TRRL

- 靴底の滑り性試験を線形摩擦試験へ変更
(FIFAと同条件)

⑥耐摩耗性



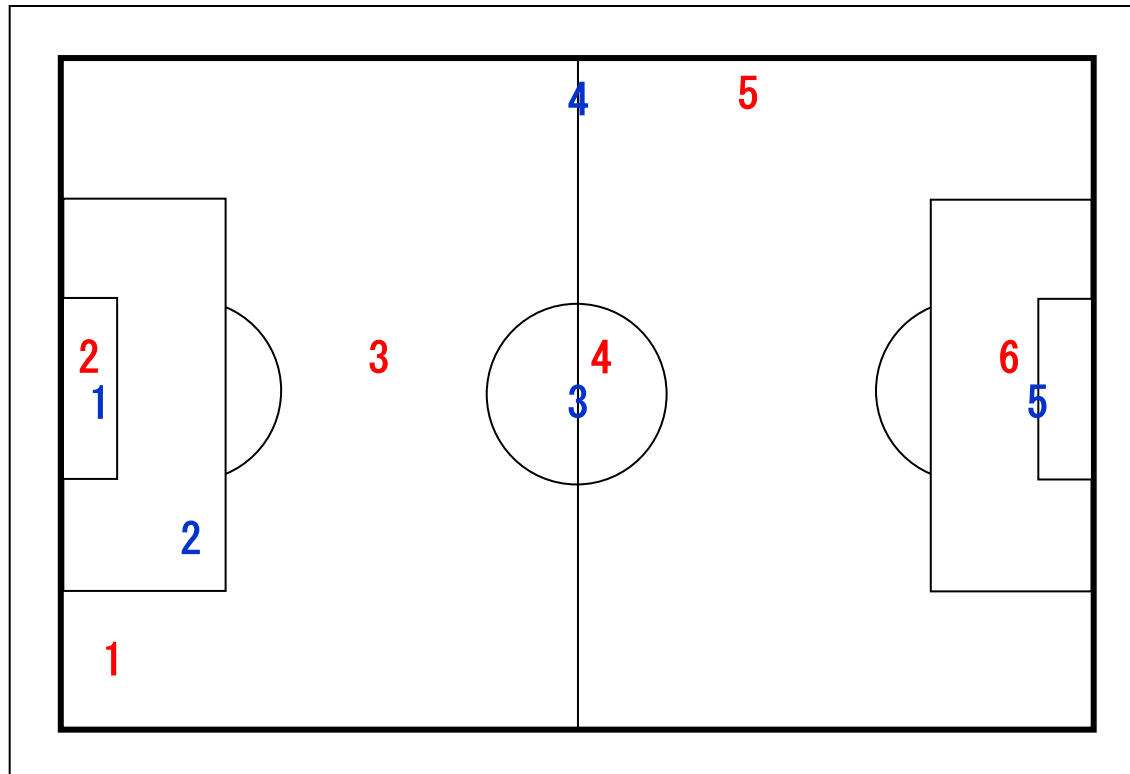
- FIFAと同じスタッド、摩耗回数へ変更
 - スタッド 回転抵抗、線形摩擦と同じに揃える
 - 摩耗回数 旧:5000回 新:5200回

⑦ボールの空気圧の変更



コンクリート上で落下させた時の垂直反発高さが1.35mとなるように空気圧を調整する。

⑧フィールドテストでの測定位置



旧: 5箇所 (UEFA参考)

新: 6箇所 (FIFA参考)

⑨敷設人工芝の素材識別検査

- ・FIFAを参考に新たに導入。現場からサンプル採取する。



- ・ラボテストを実施したサンプルと、敷設された人工芝が同じであることを確認する。